

子ども特派員 わが街を行く！



田んぼに到着すると、4・5年生みんなで一生けん命稲を刈っていました。私たちは、「稲刈りは機械を使っているので簡単だな」と思っていたのですが、かまを使って手作業で刈っているのを見て、「とても大変だな」と思いました。

実際に稲刈りをしている児童に話を聞くと、「こんなに大変だとは思わなかった。これからは、お米は残さずに食べたい」と話してくれました。刈り取られた稲の束を持ってみると、穂先の方が少し重く感じました。



この紙面は、自分たちの住んでいる街や校内活動を、自分たちで取材・編集する「子ども特派員」とともに編集しています。

今回の「子ども特派員」は、豊小学校6年生の春山昂賢さん、宮本芽依さん、森雪乃さん、松本莉聖さん、赤塚ほの華さん(左から)が、豊小学校の学校行事で行われた稲刈りの様子をご紹介します。

感謝を込めて「いただきます」♪

～初めての稲刈りを取材して～

今回、私たちは9月10日に行われた、豊小の4・5年生による「稲刈り」を取材しました。



今回、5月の田植えから苗を育てて、稲刈りに協力してくださった農家の稲葉さんに、米づくりについてインタビューをする機会がありました。稲葉さんに「お米ができるまでにどのくらい時間がかかるのか」を聞くと「4月に種をまき、5月に田植えをして、収穫できるまでは6カ月くらいかかる」と答えてくれました。外での作業なので、ケガや熱中症にも気をつけているそうです。また、「米づくりで難しいことは？」と聞いたときは「稲は季節やそのときの気温によって育て方が違い、そこが難しい」と答えてくれ、「最近、農家をやる若い人が減って困っているが、みんなにおいしく食べてもらうためにいねいに育てている」とも話してくれました。

私たちは、この取材を通して、米づくりの大変さがわかりました。いつもなにげなく食べていたお米も、これからは作ってくれた人のことを思い、大切に食べたいと思いました。

● 学校通信 ●

市内小中学校のお知らせ情報を掲載します。

【伊奈中学校】

資源回収を実施します。皆さんのご協力をお願いします。

▼日時：11月15日(土) 午前8時

※小雨決行(雨天時は翌日に順延。その際は、学校HPをご覧ください)

▼回収物：新聞／雑誌／段ボール／アルミ缶

▼集積場所：関東鉄道バスターミナル・三島小学校

▼方法：新聞や雑誌はひもでしばってください。資源物は、午前7時30分までに自宅前に出しておいてください。PTA役員が回収します。

問 伊奈中学校 ☎58・0201